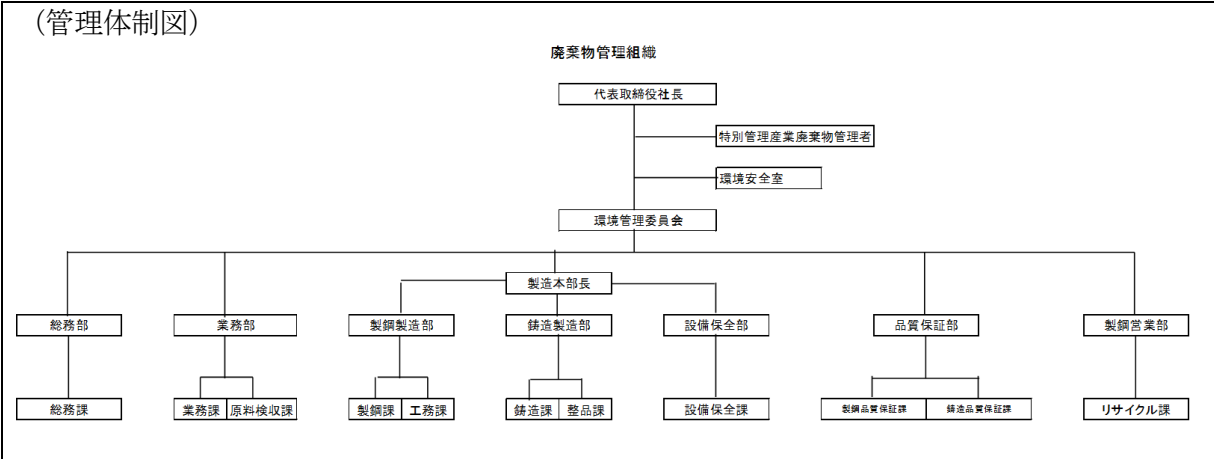


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和7年 6月 16日 山口県知事 様 提出者 住 所 山口県宇部市大字小串字沖の山1978番地の19 氏 名 株式会社宇部スチール 代表取締役社長 山根 久雄 電話番号 0836-35-1300 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社宇部スチール
事業場の所在地	山口県宇部市大字小串字沖の山1978番地の19
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉄鋼業
② 事業の規模	21,520百万円
③ 従業員数	257名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	ビレットおよび鋳造品の製造工程 ① 上記工程で発生するスラグ(鋼滓)を自社処理し路盤材として再資源化 ② 上記工程で発生するスラグ(鋼滓)を自社処理し地金として再資源化 ③ 上記工程で使用する鋳物砂を自社(再生)処理し再生砂として再資源化 ④ 最終処分場(管理型)に埋め立て

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の①のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 内部リサイクルの徹底 ・ 製鋼に係るスラグ生成率の低減 ・ スラグ中の地金流出量の低減		
② 計画	【目標】（令和7年度）計画		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の④のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 内部リサイクルの徹底 ・ 製鋼に係るスラグ生成率の低減 ・ スラグ中の地金流出量の低減		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発生工程が異なり確実に分別および保管管理を実施している
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発生工程が異なり確実に分別および保管管理を実施していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の②のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・製品スラグとしての販売 ・鋳物廃砂の内部リサイクル ・地金としての内部リサイクル		
② 計画	【目標】（令和7年度）計画		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の⑤のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・製品スラグとしての販売 ・鋳物廃砂の内部リサイクル ・地金としての内部リサイクル		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】（令和7年度）計画		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（令和7年度）計画		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の③のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 書面による契約の実施		
	・ 委託先処理業者への定期的な現地確認		

(第5面)

	② 計画	【目標】（令和7年度）計画		
		産業廃棄物の種類	別紙2-1および別紙の⑥のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 書面による契約の実施 ・ 委託先処理業者への定期的な現地確認		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(令和6年度計画の実施状況)

産業廃棄物の種類		鉋さい	がれき類	金属屑	廃油	廃アルカリ	汚泥	ガラス・陶磁器屑	(計)
発生量の目標		26,228t	0t	8,717t	8t	0t	74t	1,394t	36,422t
①	産業廃棄物排出量	22,759t	7t	6,804t	6.2t	11.4t	44t	1,304t	30,936t
②	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	15,699t	0t	6,804t	0t	0t	0t	0t	22,503t
③	全処理委託量	7,060t	7t	0t	6.2t	11.4t	44t	1,304t	8,433t
	優良認定処理委託業者への処理委託量	0t	0t	0t	6.2t	11.4t	0t	0t	17.6t
	再生利用業者への処理委託量	3,681t	0t	0t	0.0t	0t	0t	933t	4,614t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

(令和7年度の目標)

産業廃棄物の種類		鉋さい	がれき類	金属屑	廃油	廃アルカリ	汚泥	ガラス・陶磁器屑	(計)
④	産業廃棄物排出量	23,293t	0t	6,964t	6t	0t	45t	1,335t	31,643t
⑤	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	16,067t	0t	6,964t	0t	0t	0t	0t	23,031t
⑥	全処理委託量	7,226t	0t	0t	6t	0t	45t	1,335t	8,612t
	優良認定処理委託業者への処理委託量	0t	0t	0t	6t	0t	0t	0t	6t
	再生利用業者への処理委託量	3,767t	0t	0t	0t	0t	0t	955t	4,722t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

多量排出事業者 名 称	株式会社宇部スチール	所在地(市町名)	宇部市	事業の種類	鉄鋼業
-------------	------------	----------	-----	-------	-----

(単位:トン)

区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	44	45									44	45								
	廃油	6	6									6	6	6	6						
	廃酸																				
	廃アルカリ	11	0									11	0	11	0						
	廃プラスチック類																				
	紙くず																				
	木くず																				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	6,804	6,964	6,804	6,964																
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	1,304	1,335									1,304	1,335			933	955				
	鉱さい	22,759	23,293	15,699	16,067							7,060	7,226			3,681	3,767				
	がれき類	7	0									7	0								
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
	計 (A)	30,936	31,643	22,503	23,031	0	0	0	0	0	0	8,432	8,612	17	6	4,614	4,722	0	0	0	0